



# ひびき



隔月刊

(題字 佐藤 寛)

令和6年7月31日

特定非営利活動法人 福島・伊達精神障害福祉会 (通称：ひびきの会)  
 事務局：〒960-8055 福島市野田町2丁目5番9号 TEL 024-563-3304 FAX 024-573-2005

つゆざむどころか、暑いですね。

理事長 相澤 與一

6月末の今日も30度を越えそうで、暑いですね。むかしだったらつゆざむなのに、このごろは年々暑さが増して、この気象変動による熱中症の多発が怖いんです。おたがいに大事をとりましょう。私は、夜も昼も水分をとっています。朝は4時半に起き、軽く体操をしてからコーヒー豆を挽いてコーヒーを飲むと、朝食前にひと仕事をしたいので、机に向かいます。

さて、ひびきの会は、野田町に移転後最初の定例総会、つまり令和6(2024)年度の総会を6月8日に新施設の多目的ホールで開催しました。総会は定足数を充たして成立し、ご来賓のご挨拶などを頂いたあと、予定通り議事を審議して滞りなく終了し、そのあと「昔話」とマジックの余興を楽しみました。

もちろん、恒例通り理事長も挨拶をしました。今回は、その理事長あいさつの半分ほどを紹介し、せめをふさぎます。「移転後まもなく、かねてより療養中の前理事長、佐川裕也さんが穏やかにご逝去されました。生前のご貢献にあつく感謝申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈りします。

ところで、私は、めずらしく今年の11月26日に東京で開催された障がい者関係の全国組織、

「障全協」の年次総会に記念講演を頼まれ、ご挨拶をする機会がありました。そのあと、その会の機関紙『障全協新聞』の新年号に同会会長のご挨拶文があり、その末尾に、こういうくだりがありました。

「相澤與一福島大学名誉教授による記念講演『自助強制強化型の「全世代型社会保障」に代えて』の終わりに提起されたことを改めて共有したいと思います。『障がい者もその関係者も、人類が避けられない障がいという難儀を他の人々に代わって担うことで社会に貢献していることに誇りをもって発言し、あるべき福祉国家社会を目指して共同することが肝心である』と話されたこと、新年に当たっての指針にしたと思います。」

これは、私が常日ごろ肝に銘じて自分の活動指針にしていることです。みなさまにもお考えいただきたい命題なのですが、いかがでしょうか。みなさん、どうかお大事になさってください。



# 令和6年度通常総会 報告

今年度の総会は新型コロナウイルスの感染がある程度収まったことを踏まえ、令和6年6月8日(土)昨年引き続き対面での開催。総会開催日現在の会員130名のうち、会員本人37名出席、委任状63名、計100名で2分の1を越えたため、総会が成立しました。議案は、令和5年度の事業報告及び決算報告、会計監査報告、令和6年度事業計画(案)及び役員(理事・監事)の選任について審議しました。

## 【令和5年度事業報告及び決算報告】

令和5年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、「3密」を徹底的に回避し、人と人との距離を十分確保するよう心掛けて事業を実施しました。このため、チャリティーコンサートや市民学習会の開催は中止としました。その他の事業については、計画どおり実施しました。

新型コロナウイルスの感染防止を徹底したことにより、個人での感染はありましたが、クラスター発生はなく閉所することはありませんでした。利用者一人一人、職員の日々の危機管理意識と感染予防の努力の賜物であったと思います。

決算報告については、法人全体で経常収益が132,001,682円、経常費用が131,919,461円となり、税引前正味財産増減額は82,221円の黒字で、税引き後399,509円の赤字決算となりました。



## 【令和6年度事業計画】

当法人は、平成14年に特定非営利活動法による法人格を取得し、福島市と福島県と地域市民の絶大な支援を得て五月町に「精神障害者地域生活支援センター」を開設し、それに伴い「ワークショップろんど」も移転しました。令和4年度から野田町に新事業所の建設工事を進めておりましたが、新施設が完成し、令和5年10月1日から業務を開始しております。

現在、福島市に地域活動支援センター「ひびき」、就労継続支援B型「ワークショップろんど」、「グループホーム風の樹」、伊達市には就労継続支援B型「HANA」、地域活動支援センター「leaf」を運営しています。

全事業所が一体となり、以下の事業を実施します。

## 1 ひびきの会の事業

### (1) 保健福祉思想の普及啓発事業

- ・地域関係団体と協力をして普及啓発に取り組む
- ・地域との交流を図る「心の輪」チャリティーコンサートの開催
- ・お茶のまね会の開催（隔月第2土曜日開催）
- ・会報「ひびき」の発行（年6回）

### (2) 会員及び家族の相互交流、相互援助と啓発活動

- ・家族相談、家族支援

原則火曜日を相談日とし、相談者と担当職員・家族相談員の日程調整を図りながら、無料で実施する。

### (3) 県北地区精神保健福祉会、福島県精神保健福祉会連合会（つばさ会）、

（一社）福島県精神保健福祉協会、F-ACTORの会、公益財団法人全国精神保健福祉会連合会（みんなねっと）等への活動へ積極的に参加

### (4) 行政との交渉と連携の強化。市議会と県議会との懇談・交流と陳情の継続。市長との懇談会への参加。特に、精神障害者の医療費の無料化について、行政機関への陳情活動を強化する。

### (5) 障がい者や家族が安心して暮らせる地域福祉をつくるために、活動と事業の在り方を改善し拡充を図る。

### (7) 組織活動の改善と発展を目指し、社会福祉法人化を図るための準備活動を推進する。

## 2 障害者総合支援法に基づく事業（各事業所の事業計画）

### (1) 地域活動支援センター「ひびき」（Ⅲ型）

利用者が集い、くつろぐ居場所として、また各種プログラムと交流の活動を推進し、成長・発達のステップにつながる活動を行う。

### (2) 就労継続支援B型「ワークショップろんど」/「HANA」

利用者が自立した日常生活・社会生活を営めるよう、利用者に就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会を提供して、知識及び能力の向上のために必要なその他の便宜を適切かつ効果的に行う。

### (3) 地域活動支援センター「leaf」（Ⅲ型）

利用者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう居場所や創作的活動の機会を提供するとともに、地域生活のために必要な支援を行う。

### (4) 共同生活支援「グループホーム風の樹」

利用者の「安心」「安全」「安定」を担保できるように、職員のスキルアップや体調面の見守り、病院との連携などに力を入れるとともに、ニーズに応じた支援を行う。

### 3 各事業所共通の実施計画

緊急時における対応、非常災害や事故防止等の徹底・リスクマネジメントの取り組み、苦情解決の誠実な対応、虐待防止のための措置、職員の資質向上、地域との交流等を深める。

### 4 職員の資質の向上

利用者に対する支援の充実と職員の資質向上を図るため、法人内において所内研修を実施するとともに、外部の研修会に積極艇に参加する。

### 5 法人体制強化

法定及び法定外の事業運営及び家族支援事業推進のために、運営体制を絶えず見直し、迅速、効率的に仕事に対応をできるよう組織の見直し、強化を図る。

また、将来にわたる人材の確保と養成に努める。

役員改選が行われ、現役員（理事・監事）が再任された。理事長に相澤與一、常務理事に高橋一則が再任された。

法人事務局長 高橋一則

※総会后、菅野由美子氏による「昔話」と引地州子氏によるマジックが行われ、会場から割れんばかりの拍手が送られました。

菅野由美子氏



引地州子氏



# 令和5年度 苦情解決委員会の活動報告について

苦情解決委員会では、ひびきの会をご利用いただいている皆様やご家族、関係者や近隣の方などからの苦情、ご意見・ご要望を受け付け、適切に対応するための話し合いを行っています。また、日頃業務の中で挙げられたヒヤリハットの共有を行い、重大事故を未然に防ぐ取り組みも行っています。今年度は6回の委員会を開催し、12月に前期報告会、6月に後期報告会を開催しました。12月に第三者委員の方が1名退任されましたので、新任の方1名にお引き受けいただき、新しい体制となりました。

## 《苦情、意見・要望》

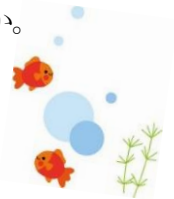
1年間で受け付けた苦情、意見・要望は37件で、昨年度の27件から10件の増加となりました。内訳は苦情が21件、意見・要望が16件です。主訴の分類は昨年を引き続き、「サービス提供内容の質や量」14件が一番多く、その次続いて「その他」11件、「被害・損害・事故」が6件となっております。「その他」が昨年度より9件の増加となり、主訴の内容も多様化している状況です。

## 《ヒヤリハット》

1年間で受け付けたヒヤリハットは27件で、昨年の45件から18件の減少となりました。大幅に減少した事業所、若干減少した事業所、変わらない事業所があり、各事業所で傾向はそれぞれとなりました。種別としましては、前年度と同様「経済的損失」10件が一番多く、続いて「外傷」9件、「その他」7件となりました。今年受け付けた中では「経済的損失」が一番多い件数となっておりますが、昨年の28件から件数自体は減少しており、電気やエアコンの消し忘れのヒヤリハットが全体的に減少した結果となっております。

## 《第三者委員の皆様から》

- ・法人内でルールを明確にすることで、より良い法人運営に繋がるのではないかと。
- ・何事にもルールを決めることは重要である。
- ・第三者委員の役割や対応等について、マニュアル化してほしい。



年間の活動と年2回の報告会を振り返り、利用者や関係者の方からの苦情、ご意見・ご要望は、私たちの支援や環境整備、また、法人運営をより良いものにするための、きっかけをいただいているものと改めて感じます。今後も日々の支援や委員会活動に真摯に取り組み、各事業所や法人全体をより良いものに成長できるよう、努めて参ります。

苦情、ご意見・ご要望などありましたら、各事業所に受付担当が配置されておりますので、お気軽にお声かけください。

HANA 鈴木 真理

# お茶のまね会報告

7月13日(土)家族12名の参加。久しぶりの再会となる方もあり近況を分かち合いました。今回も近況報告は盛沢山でした。

- 50歳にして4月末より発達障害ADHDの治療薬インチュニブが処方。最高6ミリに対し先週5ミリとなった。副作用の身体のだるさが辛いがこれまでの統合失調症の薬を減らしながら様子を見ている。以前より家にいることができ落ち着いた気もする。
  - 1日2箱のタバコを買いに30分程外に出るだけ。昔水泳をやっていたのでプールに行ったらと言ってもその気になれず、アニメの原作を読んだりして過ごしている。水を飲みすぎると体調が悪くなっている。
  - 仙台の事業所で週3日スタッフとして働いている。体調を見ながら無理せずに。
  - これまで医療保護入院を3回したが、もう入院はさせないと思っている。
  - 小学校のときからまわりと異なっていた。月1回カウンセリングを受けている。マンガを描くことが好き。(ひびきスタッフから、今年カルタをみんなで作るので、そのイラストを描いたり参加できればいいですね、まずお母さんが支援センターを見学されてはどうでしょうかとお話しました。)
  - 息子が外出先で斜面で足を滑らせ骨折してしまった。体力が落ちていることを感じた。
  - 介護して親を見送った後、13年程前から妻は体調を崩し具合が悪くなった。現在妻と2人暮らし。以前あまりしてあげられなかった分、いま優しく接するよう心掛けている。
  - A型作業所に行っているが閉鎖されるのではと言われている。本人はお金が欲しいので障害を隠して働きたいと言っているが、2時間作業で家に帰れば疲れて横になっている。今のままでいいのではと言いついて聞かせている。洋服やコンビニでの買い物、金銭管理が心配。
  - 学業もスポーツもこなしていた息子は中2でいじめにあった。なんとか高校は卒業したが入退院を繰り返した。現在週3回デイケアに参加。主治医とも気が合っているようだ。車で母親と買い物に遠出したりあずま運動公園に行ったりしている。タバコはやめたがネット通販で洋服を買うようになった。夕飯が病院食と同じに早いので夜中2～3時に食べているようで、肥満が心配。
- 他にもたくさんの報告や思いが語られました。時間が足りないくらいです。

☆高橋事務局長よりチャリティーコンサートを来年3月8日(土)音楽堂小ホールで行われることが報告されました。それに対し、利用者さんも参加する楽しい企画運営になるようにとの意見が出され、イメージが豊かになりました。

★ 次回は9月14日(土)10時～12時 地域活動支援センターダイルーム ★

～ 茶 話 会 ～

話すことはチョットという方も、聴くだけでも歓迎です。どうぞお気軽にお越しください。

# 「ひびきの会」あしあと

<令和6年>

- 5月11日(土) お茶のまね会※  
5月14日(火) リーダー会議※  
5月15日(水) 福島地区安全運転管理者協会令和6年度総会出席  
5月16日(木) 給与支払者向け定額減税説明会出席  
5月28日(火) 令和6年度福島県障がい者相談支援従事者養成研修出席  
5月30日(木) 自立支援審査会出席／  
福島県北地区障がい福祉連絡協議会通常総会出席  
5月31日(金) 授産事業振興会 第1回理事会出席
- 6月4日(火) リーダー会議※  
6月5日(水) 福島法人会第12回通常総会出席  
6月6日(木) 福島県授産事業振興会通常総会出席／つばさ会総会出席／  
いきいき共生推進委員会出席  
6月7日(金) 共生社会ふくしま実現協議会総会出席  
6月8日(土) 第2回理事会※／ひびきの会通常総会※  
6月17日(月) 令和6年度福島県障がい者相談支援従事者養成研修講義出席  
6月19日(水) 令和6年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員研修出席  
6月20日(木) 令和6年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員研修出席  
6月21日(金) 令和6年度算定基礎届等事務講習会出席  
6月25日(火) 令和6年度福島県障がい者相談従事者養成研修・実地研修出席  
6月27日(木) 福島県北地区障がい福祉連絡協議会定例会出席



※内部会議・会合

## 《 人事 》

職員氏名	所属	職名	内容	日付
佐藤 富美子	グループホーム風の樹	世話人	退職	令和6年6月30日付
武田 拓之	グループホーム風の樹	世話人	異動	令和6年7月1日付
佐藤 亜也子	グループホーム風の樹	管理者兼サービス管理責任者	退職	令和6年7月31日付

## イベント情報

### 《ひびきの会》

#### ☆お茶のまね会

9月14日（土）10:00～12:00

詳細は6頁を参照ください。

#### ☆家族相談（要予約）

毎週火曜日 11:00～14:00

※曜日と時間は要相談  
家族相談員が相談に応じます。  
事前にご連絡をお願いします。



### 《ワークショップろんど》 《HANA》

#### 《支援センターひびき》

#### ★いきいき！ふくしEXPO

日時 8月29日（木）・8月30日（金） ※ろんどは29日のみ

時間 10:00～15:00

場所 福島トヨタクラウンアリーナ

### 《HANA》

#### ★福島市役所・いきいき！ふくしマーケット

日時 8月22日（木）・9月26日（木）

時間 11:00～13:00

場所 福島市役所

販売は不定期で各所にて行っています。

### <編集後記>

私は法人事務局勤務のほかに、4月にHANA職業指導員の兼務辞令が発令されました。HANA職業指導員兼務辞令発令の主旨は、HANAにおいて伊達市にある果樹園の施設外就労に本格的に取り組むためです。

4月からりんご、6月からぶどうに関する作業です。敷地面積が広大なうえに、果樹が数えきれないくらいの本数があること、天候と暑さの勝負かつ、1日2時間という限られたなかで果樹園主の思いどおりの数をこなさなければならない作業なので、業務が終わると疲れでぐったりします。この数ヶ月、こんなに体力がないのかと痛感しました。

果樹園作業は今後もさまざまあるのかもしれませんが、任された業務を職員と一緒に作業に従事する利用者と協力しながら進めたいと思います。

五十嵐 良則

### <お問い合わせ>

ひびきの会事務局	TEL 024-563-7680
ワークショップろんど	TEL 024-563-3304
支援センターひびき	TEL 024-522-6886
HANA	TEL 024-584-2920
leaf	TEL 024-572-3770

<http://hibikinokai.sakura.ne.jp>

検索する場合は、

**福島・伊達精神障害福祉会**

と入力してみてください。